

# 森下さち子ニュース



2012年【10月号】 和歌山市鳴神 1145 の6 TEL(474)6556  
市議員団ホームページ <http://jcpwkm.sakura.ne.jp/> TEL(435)1113



## 9月議会が終わりました

共産党議員団は専決処分、議案13件、  
請願に賛成し、議案4件は反対し、反対  
討論を森下さち子が行いました。

◆9月定例会市議会は9月10日～  
28日まで開会され、市長から提  
案された議案すべてが賛成多数  
で可決されました。

◆日本共産党市会議員団はスカ  
イタウンつづじヶ丘への20面も  
のテニスコートを建設する工事費  
の契約や青岸エネルギーセンター  
の基幹工事について、高い落札率  
となる随意契約のあり方など問  
題のある議案には反対しました。

◆任期満了に伴う教育委員長と  
教育長を選任する人事案件のう  
ち、教育長については教育の専門  
家でないことから反対しました。

### 森下さち子の一般質問

#### 就学援助の充実、拡充を！

就学援助制度は就学困難と認  
められる児童・生徒の保護者に  
対し、収入などの条件を満たせ  
ば、学用品や給食費などが支給  
されるものです。支給項目や金  
額は国がその基準を定めていま  
すが、2005年から準要保護  
児童については国庫負担から交  
付税措置になったことから、自  
治体の裁量によって支給額を決  
めるようになりました。しかし、  
ほとんどの中核市では国の基準  
通りの金額を支給しているのに  
対して和歌山市はこれを大きく  
下回る金額になっています。私

朝夕の寒暖の差が激しくなっ  
てきました。それだけに昼間着る  
ものと朝夜着るものとの選択に  
迷う今日この頃。みなさんはいか  
がお過ごしでしょうか。

今年の夏は殊の外暑く、9月に  
なっても猛暑が続いたため、彼  
岸花や金木犀の咲く時期がずれ  
たようです。忙しさにかまけてい  
て、いつの間にか花を楽しむ時を  
逃してしまい残念でした。それで  
も季節は確実に流れ、気がつけ  
ば今年のカレンダーも残り3枚で  
す。

やらねばならないことと、やり  
たいことの優先順位をつけなが  
ら丁寧に日々  
を過ごしたい…  
…願望ですが。



## 日本共産党

衆議院和歌山1区予定候補

### くじけ秀明です



日本平和委員会の「平 流す」(米シンクタンク)  
和新聞「編集長、布施 などという、日米軍事  
祐仁さんの講演「そこ 同盟のもとでのアメリカ  
のけそのけ自衛隊が カの対日要求や、自衛  
通る「災害派遣の裏側 隊の隊内教育、学校で  
で」をききました。  
布施氏は、「同盟とは つうじて国民への浸透  
別れることのできない を図っている内容など  
結婚だ。アメリカは日 にふれて、自衛隊の実  
本を守るために血を流 像を詳しく語ってくれ  
す。自衛隊も共に血を ました。  
在日米軍の存在は日 本を守るためではなく  
て、海兵隊のオスプレ イ配備にみられるよう  
に世界戦略によるもの です。自衛隊が米軍と  
共同して人を殺し、殺 されるような事態にな  
らないよう、厳しい監 視と運動が必要です。

はこんな不名誉な状況をただちに  
改め、児童・生徒が安心して学べる  
制度の充実を求めました。  
市長も教育長も現状を十分だとは  
思っていない、財政状況を見ながら  
ではあるが改善する  
べきは改善すること  
を検討と答えまし  
た。



#### 中学校給食は

#### 安全安心を第1に！

この10月から中学校18校のう  
ちの6校において、デリバリー方式  
の給食が始まっています。私は、給  
食は全員に提供されることが望まし  
いとして、デリバリーではなく自校

調理や共同調理などの方式を検討す  
るよう求めてきましたが、財政的な  
問題や18校にできるだけ早く実施  
するためには、デリバリー方式がベ  
ターだとする「給食検討委員会」の  
議論の結果により決定されたところ  
です。

今回はその内容以前に業者選定に  
関わる安心、安全という点で選定の  
際の条件をどのように考えたかにつ  
いて質しました。

小学校の民間委託の際に求められ  
た安心・安全のためには「過去3年  
以内に食中毒を起こしていない」と  
いう実績が求められたのに対し、今  
回の中学校給食はこの項目が入れら  
れません。市教育委員会は京

\*裏面に続く

# こんにちは！ 藤井健太郎です

(ふじいけんたろう)



10月13日の土曜日、地場産業振興センターで開かれた「わかやま住民要求研究集会」の「医療・福祉・介護」の分科会に参加しました。労働組合や市民団体などが、それぞれに取り組んでいる運動の交流会のようなものです。

私の生活相談所でも、国保や介護、年金などらしにかかわる相談が寄せられます。共通しているのは、収入は減っていくのに掛け金だけは減らず払うのがたいへんだ、ということです。滞れば保険証がもらえず医者にもかかれないうし、雀の涙ほどの貯金を有無もいわず差し押さえられたという話も珍しくありません。

政府・財界は、社会保障というのは保険料を払った人にだけ、それに見合うサービスをするものだから、払わない人にはサービスはしない、と言い放っています。果たして社会保障はお金を出して買うサービスなのでしょうか。

生まれてきたからには、人間らしく幸せに生きていきたい、だれもの願いではないでしょうか。どんな境遇に陥っても、再び立ち直っていくことができる、そのための支援を、たとえお金がなくても国や自治体が手をさしのべてくれる、それが社会保障だと、私は思いたいし、そういう社会保障めざしてがんばろうと思わせてくれた「研究集会」でした。



前県会議員 藤井健太郎  
(10月21日)

元衆議院議員の藤木洋子さんと。  
(後方左より) 奥村のり子県会議員、  
森下、元県議の村岡キミ子さん、  
南畑さちよ市議



私は1986年に和歌山市へ来ましたが、ちょうどその年は衆・参同時選挙だったと記憶しています。青年としてピラマキをしたり、街頭で宣伝活動をしたりしました。地域の先輩同志のみなさんが誇らしげに戦っていたことを思い出します。市議となった今でも訪問先で野間さんの思い出を語る方が何人もおられます。つくづく「すごい人」と思わずにはいられません。そんな人が私の先達であることを誇りに思います。

今年5月17日に79歳で亡くなられた野間友一さんを偲ぶ集いに参加しました。1972年から1990年1月まで5期14年余を和歌山1区の国会議員として奮闘された野間さん。文字通り「世直し弁護士」として朗々と国会質問に取り組まれたその実績は語り尽くせないほどのです。



今年5月17日に79歳で亡くなられた野間友一さんを偲ぶ集いに参加しました。1972年から1990年1月まで5期14年余を和歌山1区の国会議員として奮闘された野間さん。文字通り「世直し弁護士」として朗々と国会質問に取り組まれたその実績は語り尽くせないほどのです。

\*表面より  
都市を先進と考えるその条件を踏襲したというのですが、吹田市や姫路市など「過去3年以内の実績」を問うところの方が多く、新しく導入するならば最良の条件を設定することが教育委員会の責任であることなどを指摘し、条件の改善を求めました。  
市教育委員会は安全性については聞き取り調査や施設の点検などで確保できたと考えておりこのまま実施する、また、デリバリー方式は初めての試みなので安全性については今後も検証すると答えました。

## 来年度予算編成に向け 市長に重点項目を 手渡ししました

毎年、秋に来年度の予算編成に盛り込む要求をまとめて、市長と各局、部へ提出しています。

今年も通年よりも早くまとめて予算に反映させたいと9月24日に市長へ10の重点項目を提出しました。この後、各局へも提出しました。さらに同時進行で各団体や市民の方からも要求の聞き取りや懇談会などに取り組む予定です。

ぜひ、議員団へご意見、ご要望をお寄せください



## 日本共産党演説会

11月6日(火)午後7時  
ダイワロイネットホテル

小池晃政策委員長が  
お話しいたします。  
多数のご参加お待ちしております。

